

利根川が注ぐ場所の移動

五年 円崎 かのん

利根川は、太平洋に注いでいますが、昔は

利根川は、東京わんに注いでいました。この

利根川を太平洋に注がせると、氷上文通の

がいぜんや流域を水害から守るなど、良くな

る事がいろいろあります。なので、利根川を

太平洋に注がせる工事が行われました。

この工事が始まったのは一千六百二十一年

で、伊奈忠治の指揮で、赤堀川が開削されま

した。そして、赤堀川の水深を深くするため

の堀削も始まりましたが、難工事となり、一

千六百三十五年も合わせて二回失敗してしま

います。一千六百五十四年に三回目の赤堀川

の工事が成功し、利根川の一部が赤堀川から

常陸川にいつも流れるようになった。赤堀川

の拡張により、利根川から銚子河口へ通し、

太平洋へ流下させる工事が終わりました。

しかし、一千八百九十八年ごろ、利根川下流の

海に注ぐ所は千葉県で、予算が少なかったた

めに、当時直接利根川に面していなかった場所が洪水の被害にあいました。予算が少ないという事は、どてなどの洪水たいさくがままならないという事です。なので千葉と茨城による改修工事が検討されています。ですが、現実では、「首都けんけん区域堤防強化事業」が進められ、下流のたいさくが後回しにされていくそうです。

私は「利根川が東京わんに注いでいた事を初めて知りました。このような工事が行われたいのがとてもおどろきました。私は、全然利根川について知らなかったのでも勉強になりました。」